



そのとき  
どうする?

## 火災発生

### 初期消火の3つのポイント

ひとりで消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報し、初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

#### 1 早く知らせる

「火事だ」と大声を出し、隣近所に助けを求め、声が出なければ、やかんなどを叩き異変を知らせましょう。

#### 2 早く消火する

出火から3分以内が消火できる限度です。  
水や消火器だけで消そうと思わず、座布団などで

#### 3 早く逃げる

天井に火が燃え移ったら、いさぎよく避難しましょう。  
避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶ちましよう。

### 水のかけかた

#### 2つのポイント

1 ふすまや障子、カーテンなどの立ち上がり面にかけるときは、上から半円を描くようにしましょう。

2 ストープや壺などへは一気にかけてましよう。ただし、油鍋や感電の恐れのあるものには直接水をかけないで、他の方法で消火しましょう。

#### 「水の威力は消火器なみ」

コップ一杯の水でストープの火が消えた実験結果があります。  
水の消火能力はとても大きいので、消火器と共に、くみおき水の用意も忘れずに。



### 火災から安全に避難する

#### 7つのポイント

1 天井に火が燃え移ったときが避難の目安です。

2 避難は高齢者、子供、病人を優先してください。

3 服装や持物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。

4 ちゅうちょは禁物です。炎の中は一気に駆け抜けましょう。

5 煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くしましょう。

6 いったん逃げ出したら、再び中には戻らないこと。

7 逃げ遅れた人がいるときは、近くの消防隊にすぐ知らせましょう。

